

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

1 工 事 名 : 4-1 公共 (西宮下) 管渠更生工事

2 工事場所 : 上尾市西宮下四丁目地内外

3 工 種 : 土木一式
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

| | 変 更 前 | 変 更 後 |
|--------------------|--|--|
| 工 期 | 令和 4 年 1 1 月 3 0 日から 令和 5 年 6 月 3 0 日まで | 令和 一 年 一 月 一 日から 令和 一 年 一 月 一 日まで |
| 契 約 金 額 (税 込) | 6 8 , 2 7 3 , 7 0 0 円 | 7 2 , 4 9 2 , 2 0 0 円 |
| 工 事 概 要 | 耐震継手工 (目地利用) 12箇所 人孔修繕工 ケレン 1.18㎡ 人孔補修 1.18㎡ 足掛金物撤去設置 50箇所 | 耐震継手工 (目地利用) 0箇所 (新規) 耐震継手工 (誘導目地設置) 11箇所 人孔修繕工 ケレン 2.58㎡ 人孔補修 2.58㎡ 足掛金物撤去設置 46箇所 (新規) 取付管撤去 11箇所 |

5 変更理由

本工事において、下記の事由により数量の増減が生じるため変更する。

- ① 契約締結後に実施した事前調査の結果、耐震継手を設置する箇所に、既設管の継ぎ目がなかったため、目地利用による耐震継手を廃止とする。

【耐震継手工 (目地利用) -12 箇所】

また、新たに既設管に目地の設置が必要となったことから、誘導目地の設置による耐震継手工を 12 箇所追加する。

なお、No199-1-10-1 の下流側の耐震継手を設置する箇所に、既設の副管があり、スパンの距離も短く、耐震継手の設置が困難であることから、耐震継手工の数量を 1 箇所減とする。【耐震継手工 (誘導目地設置) +11 箇所】

- ② 契約締結後に実施した事前調査の結果、当初の想定より、人孔内の壁面の錆の劣化が一部進行しており、補修範囲を広げる必要があることから、数量を増とする。

(人孔補修 +1.4 ㎡)

- ③ 契約締結後に実施した事前調査の結果、当初の想定より、No4-199-1-10-1 の上流人孔と No5-No208-10-1 下流人孔の足掛金物の劣化が一部進行していたため、それぞれ 1 箇所ずつ足掛金物の数量を増とする。また、No2-101-10-1 下流人孔の足掛金物が別工事で補修を完了させていたため、足掛金物の数量を 6 箇所減とする。(足掛金物撤去設置 -4 箇所)

- ④ 契約締結後に実施した事前調査の結果、下水道台帳に記載されていない取付管が確認され、取付管の利用が現在無いことが確認できたことから、今後、陥没の原因となる可能性があるため、取付管の撤去を行う。(取付管撤去 +11 箇所)